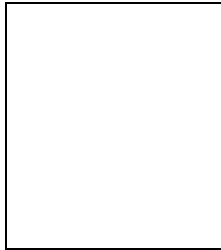


▽ 田口 順等 講師 TAGUCHI Nobuhito



所 属： 産業情報学部 産業情報学科
 担当科目： データ解析論Ⅰ・Ⅱ、政策過程の数量分析論
 産業連関論、情報処理基礎、経済学Ⅰ
 専門情報基礎、経済原論Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅱ

学歴等のプロフィール

① 【 主要学歴 】 ② 【 学 位 】 ③ 【 所 属 学 会 】 ④ 【 主要な社会的活動 】

- ① 大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程 修了
- ② 博士(経済学)
- ③ 日本経済政策学会、日本観光学会、観光情報学会、日本クルーズ&フェリー学会、日本観光研究学会、環太平洋産業連関分析学会

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
教育活動・方法の実践例 データ解析論Ⅰ・Ⅱ	2012年4月～	講義とPCによる演習の二部構成で、講義部分においては、漫画教材を教科書・参考図書で指定し、統計学が使用されている事例を紹介することで、数学な苦手な学生が感じる講義内容の難解さを軽減させている。またPCによる演習部分では、個別対応しつつ実際の計算問題を解くことで、習熟度を高めている。
経済学Ⅰ・経済原論	2012年4月～	毎回、講義の内容に沿った独自の講義プリントを配布し、プレゼンテーションソフト・書画カメラを用いてプロジェクタやモニタで内容を解説している。これは「①パワーポイントによる授業説明では書き込部分が少ないことで、学生の講義に対する集中力が低下する。」「②板書ですべての内容を書くと講義のスピードが遅くなる。」「③学生のノートテイクには個人差がありノートテイクが苦手な学生でも講義内容を書き写させやすいようにする。」の3つの問題を解決するためである。

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

- ◆ 田口順等「地域経済分析と活性化策」(大阪府立大学大学院経済学研究科博士論文) 2006年3月
- ◆ 荒木長照・田口順等「パブリシティ効果測定における広告換算金額とブログ分析についての考察～地域活性化の広報戦略に向けて」観光と情報第6巻第1号 観光情報学会 pp9-20 2010年5月
- ◆ 田口順等・池田良穂「大阪港を起点とする定点定期クルーズ客船による経済波及効果」日本クルーズ&フェリー学会論文集第1号 日本クルーズ&フェリー学会 pp25-34 2011年3月
- ◆ 田口順等・荒木長照「観光・地域イベントの定量的な政策評価—水都大阪 2009 を事例に—」経済政策ジャーナル第8巻第2号 日本経済政策学会 pp79-82 2011年5月
- ◆ 田口順等・荒木長照「地域イベントの経済波及効果と税収の推計—OSAKA 光のルネサンス 2010 を事例に—」日本観光学会誌第52号 日本観光学会 pp.1-10 2011年12月

研究分野

経済統計学、観光経済学

【Eメール・ホームページ等】

n.taguchi[at]okiu.ac.jp

平成24年4月18日現在